

『総合的な学習の時間』 福祉体験活動 PART1

1学年の総合的な学習では、1学期の後半から『福祉について考えよう』の学習をしています。その一環として、9月10日（木）に社会福祉協議会から吉田さん、大山さん、小平さんの3名においでいただき、ご指導をいただき福祉体験活動を実施しました。

内容は、認知症サポーター講座、車いす体験、高齢者疑似体験の3つの活動を行いました。生徒たちは、説明を真剣に聞いて各体験を行うことができました。

テーマ：『ふるさとに生きる・福祉』

目的：高齢者・障がい者のハンディキャップと似た状態を、肉体的・感覚的に疑似体験することで、そのハンディキャップを理解し、心のノーマライゼーションについて考えを深めること。また、誰にでも起こりうる脳の病気「認知症」を理解し、認知症の人やその家族を見守る心を育て、地域で安心して暮らせる村づくりのサポーターとなることを目指す。

★総合的な学習の流れ★

- | | |
|---------------|--------------------------------------|
| 7月 2日（木）【1時間】 | ☐ オリエンテーション |
| 7月 3日（金）【1時間】 | ☐ イメージマップの作成 |
| 7月 8日（水）【1時間】 | ☐ 個人調査テーマ決定 |
| 7月 9日（木）【1時間】 | ☐ テーマに基づき調べ学習 |

- 9月10日（木）【7時間】
- ☐ 出張講座『福祉体験活動』
 - (1) 認知症サポーター講座
 - (2) 車椅子体験活動
 - (3) 高齢者疑似体験活動

- 9月11日（金）【6時間】
- ☐ 個人テーマに沿った調べ学習
 - ☐ まとめの学習（個人新聞作成）

- 9月14日（月）【2時間】 ☐ 個人新聞完成・丁合
 9月16日（水）17日（木）【各1時間】 ☐ まとめ・発表

このような日程・内容で取り組んでいます。



◆ 認知症サポーター講座 ◆



平田村社会福祉協議会の吉田さん、大山さん、小平さんの3名の講師の先生に1日ご指導いただきました。お世話になりました。



認知症サポーター養成講座の導入で、おじいちゃん、おばあちゃんと同居している生徒は、約7割近くいました。



認知症についての説明の後、ある認知症のおばあちゃんを持つ家族の物語の寸劇を見ました。



寸劇には矢吹先生も出演しました。その後、この寸劇についてみんなで話し合いを持ちました。



各班に分かれて、寸劇の中での認知症のおばあちゃんへの対応等をみんなで考えています。



日頃から、自分の考えや意見を述べ合うことが大切になります。今後の生活でも大いに表現してください。



各班の代表が、自分たちで考えた内容を発表し、考えを共有することができました。



家族に認知症の人がいたら、もし出会ったら等具体的な対応について堂々と発表することができました。